



スクールカウンセラーだより

令和7年 4月号

ご入学、ご進級誠にありがとうございます。スクールカウンセラーの古川秀明（ふるかわひであき）です。

初めに、私の仕事をご説明いたします。

スクールカウンセリングは児童生徒の心理的な発達を援助する活動であり「心の教育」や「生きる力を育てる」などの学校教育目標と同じ目的を持つ活動です。

対面のカウンセリングによる個人へのアプローチが基本となりますが、スクールカウンセリングでは、授業、学級経営、学校全体の取り組み、家族や友人への働きかけなど様々なアプローチを総合的に実施することで相乗的な効果を引き出すことができます。

スクールカウンセラーが扱う課題は、いじめ、暴力や不登校のほか、発達の課題や精神科領域の問題、家庭環境や親子関係の課題など、多岐にわたります。

お子さんの生活にまつわること全般、ひいては保護者の方の様々な悩みなどについても相談をお受けしています。

お子さん自身が相談するだけでなく、お子さんと保護者が一緒に相談したり、保護者の方のみがカウンセラーに

相談することも可能です。

また、自主的に相談を申し込んでくる児童・生徒や保護者の相談に応じるだけではなく、すべての児童・生徒に対しても健康観察等で広く支援をおこなっています。

カウンセラーには守秘義務があるため、相談内容は相談者の許可の範囲内でのみ開示されるようになっています。相談された内容が許可なく学校に伝わることはありません。

親御さんの様々な不安が解消されることが、お子さんにとって一番の安心材料になります。

現在、宮井、森本、古川の3人のカウンセラーが相談をお受けしています。スクールカウンセラー便りも毎月3人が交代で書きます。

*次回古川は7月に書きます。「子どもの叱り方を考える」シリーズの続編です。どうぞお楽しみに！

～ご予約について～

月、水、金の完全予約制です。開設日時は学校にお問い合わせください。初回のご予約は先生を通じてお申し込み下さい。2回目からは相談室で直接予約していただけます。

皆様のご来室を、心よりお待ちしております。

スクールカウンセラー 古川秀明